

夏の観察会を楽しみに ほたる幼虫放流会開く

洞 爺湖青年会議所（ＪＣ・大久保正人理事長）と教育委員会が主催する「ネイチャープロジェクトほたる幼虫放流会」が、6月10日（日）高砂貝塚の池で行われ、親子ら34人が、ヘイケボタルの幼虫約70匹を放流しました。

自然環境の大切さをアピールしようとＪＣが、1昨年から取り組んでいるイベント。

当日は、ほたるの生態に詳しい、飯塚淳市星の丘中学校教頭から、自然の大切さについての講話を受け、地球環境の保全



ほたるの幼虫を池に放す児童ら

ビデオを鑑賞したあと、参加者は、池に出向き、体長約1cmの幼虫をそつと放流しました。

7月29日には、観察会を予定しています。

楽しく歩きながら 郷土の歴史を学ぶ

健 康増進と史跡めぐりを結びつけた洞爺湖町史跡めぐりウォークラリー（主催健康づくり推進委員会・教育委員会）が、6月9日（土）約70人が参加して行われました。

今回は、「アイヌ語地名をたどる」をテーマに、アツケブナイ、ナンカイトフなどのアイヌ語地名の地域8カ所約5kmを歩きました。

参加者は、チェックポイントで、スタンプを押してもらい、楽しみながら郷土の歴史を学びました。



アイヌ語の地名の由来を聞く参加者

月浦森林公園 温泉小6年生かたくりの種をまく

平 成14年度から総合学習の取り組みとして続けている、月浦新森林公園でのかたくりの種まきが、6月28日（木）洞爺湖温泉小学校の児童によって行われました。



種を入れポットを作る児童ら

当日参加したのは、6年生16人。月浦自然塾阿部賢一（会長）の皆さんの指導のもと、児童たちは、かたくりの種10粒を腐葉土が入ったポットに入れる作業を行い、一人10ポットを作り上げました。

この出来上がったポットは、同塾会員の佐藤征男さん宅で1年間育てられ、来年公園に植え替えられます。

かたくりは、花を咲かすのに6年〜7年かかるといわれ、児童たちが、成人式を迎えるころが見ごろとなります。

洞爺高校柔道部全道出場 長崎町長に意気込みを伝える

5月24日〜25日静内町で開かれた「第56回北海道高等学校体育連盟室蘭支部柔道大会」で、全道大会出場を決めた洞爺高校柔道部が、6月11日（月）役場を訪れ、長崎町長に全道大会



全道大会への出場を決めた洞爺高柔道部

への抱負を語りました。

今回男子は、大黒淳志君（3年）が個人81kg以下級で準優勝、同66kg以下級で後藤匡羽亮君（1年）が5位。女子は、団体戦（高田絢乃さん、2年、嶋春香さん、向後藤有羽香さん）で準優勝。個人戦でも、中野美春さんは軽量級で3位、後藤さんが重量級で優勝に輝きました。

長崎町長は「全道でも活躍してがんばってください」と選手を激励。後藤さんは「洞爺湖町の名に恥じないようがんばります」と意気込みを語りました。